



三田中だより

令和5年度6月号
令和5年6月2日
港区立三田中学校

三田中魂を超えた三田中愛の体育祭

～ 生徒の力が存分に発揮されて ～

校長 上原 良枝

5月27日（土）に体育祭が終了しました。今年は保護者の方の外、4年ぶりに来賓の方々も制限を設けずにお呼びでき、三田中生の頑張りをご覧いただけたことを何より嬉しく存じます。

中間考査が終わってから体育祭練習が本格的に始まりました。第1回全体練習の開始時に聞いた体育祭実行委員長や副委員長からの言葉が、まず胸に刺さりました。この言葉を聞いた生徒たちは、本気で取り組むことがいかに重要か、十分理解できたことと思います。3年生の言葉として、しっかり受け止めたでしょう。この言葉のおかげで、生半可な気持ちでなく真剣な姿勢で練習に臨めたと言っても過言ではありません。

当日は、天気も体育祭の成功を後押ししてくれたような快晴でした。「叫べ青春！ 全力疾走！」という体育祭スローガンの中には、今までのコロナ禍でやや抑うつ気味だった気持ちを思い切り払拭して、全力で青春をぶつけようという大きなエネルギーを感じます。そして、このスローガン通りの体育祭になりました。

クラスで団結して全力で精一杯走ったり跳んだりする姿に、大いに「三田中魂」を感じました。それぞれの係の仕事も懸命に行っていました。特に実行委員の人はかなり前から準備をし、当日の仕事を立派に務めました。3年生は全体の前に立つ重要な場面を任される仕事でしたが、見事に責任を果たしていました。

そして、閉会宣言にあった「この体育祭で得た 仲間との協力や全力を尽くすことの楽しさを これからの学校生活に役立てていけるように頑張りましょう」という言葉に、体育祭で培ったことのすべてが表れていたと思います。全力を尽くす、それを維持していくことは苦しいものです。でもそれをやり遂げたとき、充実感や達成感で満ちあふれているでしょう。その気持ちを皆で共有することはとても楽しいのです。そしてここで得た力をバネにして、ぜひ今後に向けて発展させてください。また、体育祭後の実行委員長の言葉にも熱いものがありました。三田中に関わったすべての人へエールを送ってくれました。そして、それに応える全校生徒からの温かい拍手は、「三田中魂」を超える「三田中愛」がありました。

アンケートを一部ご紹介します。「とても楽しい時間でした。子供たちの成長を見られてうれしかったです」「生徒たちと先生方の努力に感動しました」「各クラスの団結力を感じられました。自分の中学生時代を少し思い出しました」「子どもたちが気合を入れて練習してきた成果を見ることができ、ありがたかったです」「学年が上がるごとに結束力を感じたのは大縄でした。3年生はどのクラスも連続が続き、さすが！と思いました」「アナウンスなど係として生徒が仕事をしている姿もステキでした」「ムカデ競争があんなに面白いとは思いませんでした。とても笑わせてもらいました」等、温かいご感想をありがとうございます。また、生徒の帽子の必要性やプログラムに午後の部の時間を載せることについても、検討してまいります。体育科の教員を中心に教職員も努力しましたが、何より生徒の力が大いに発揮できた体育祭でした。保護者様には毎日の体育着のお洗濯や、近隣の皆様へは練習の声や音楽でいろいろご迷惑をお掛けいたしました。地域の方のご協力によって成功した行事でもあります。本当にありがとうございました。